PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 03148968 A

(43) Date of publication of application: 25.06.91

(51) Int. CI

H04N 5/225 G03B 19/06 G03B 19/12 H04N 9/09

(21) Application number: 01286621

(22) Date of filing: 02.11.89

(71) Applicant:

SONY CORP

(72) Inventor:

SAITO ETSURO

(54) TWO BOARDS TYPE ELECTRONIC CAMERA

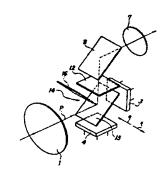
(57) Abstract:

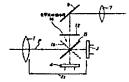
PURPOSE: To shorten a flange back distance and to reduce the insertion of glass on an optical axis by providing an optical type switching means which is rotatably or slidably arranged between a second image-pickup element and a light-receiving part and which switches light from an optical lens system to a state where it is reflected on the light-receiving part and a state where it is divided into the first and second image-pickup elements for irradiation by means of rotation or sliding.

CONSTITUTION: At the time of using an optical finder 7, a total reflection mirror 15 and a half mirror 16 are mutually and integrally slided in the direction of an arrow (e), and the total reflection mirror 15 is inserted on the optical axis P. Incident light from the optical lens system 1 is totally reflected on the total reflection mirror 15, is totally reflected on a total reflection mirror 8 through a focus screen 12 and the optical finder 7 is irradiated with said light. At the time of photographing, the total reflection mirror 15 and the half mirror 16 are slided and the half mirror 16 is inserted on the optical axis 16. The incident light from the optical lens system 1 is divided in the half

mirror 16 by transmission and reflection and CCD for Y 3 and CCD for C 4 are irradiated with the light.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO& Japio





⑲日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

平3-148968

50 Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)6月25日

H 04 N G 03 B 5/225 19/06

19/12 5/225

9/09

Z 8942-5C 8007-2H

8007-2H 8942-5C D Ã 8725 — 5 C

> 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全7頁)

会発明の名称

H 04 N

2板式電子カメラ

②特 頭 平1-286621

御出 願 平1(1989)11月2日

個発 明

悦 朗

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 東京都品川区北品川6丁目7番35号

の出 頭 人 ソニー株式会社

四代 理 人 弁理士 土 屋

1. 発明の名称

2 板式電子カメラ

2. 特許請求の範囲 /

光学レンズ系と、その光軸上に配置された第1 の摄像素子と、上記光軸に対して直交する方向か ら相対向されて配置された第2の摄像素子及び光 学ファインダー用の受光部と、上記第2の攝像素 子と上記受光部との間に回転可能又はスライド可 能に配置され、その回転又はスライドによって上 記光学レンズ系からの光を上記受光部に反射させ る状態と上記第1及び第2の攝像素子に分光して 照射する状態とに切換えるようにした光学式切換 手段とを具備させた2板式電子カメラ。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、光学レンズ系に入射した光を輝度信

号用と色信号用の 2 つの撮像楽子に分光する 2 版 式電子カメラに関するものである。

(発明の優要)

本発明は、2板式電子カメラにおいて、第1の 摄像素子を光学レンズ系の光軸上に配置する一方、 第2の摄像素子と光学ファインダー用の受光部と を光軸に対して直交する方向から相対向させ、こ れら第2の摄像素子と受光部との間に反転又はス ライド可能に配置させた光学式切換手段によって、 光学レンズ系からの光を受光部に反射させる状態 と第1及び第2の機像素子に分光して照射する状 態とに切換えるように構成することにより、電子 カメラの小型化を図ることができるようにしたも のである。

(従来の技術)

例えば、本発明の出願人が先に出願した先願例 (特願昭 6 3 - 2 3 1 5 1 8 号) に見られるよう に、従来の2板式電子カメラは第9図に示すよう

特開平3-148968(2)

に構成されている。

そして、従来の2板式電子カメラは、光学ファインダー7を使用する時には、回転式全反射ミラー6を光軸P上の実線位置まで矢印a方向に回転させて、光学レンズ系1からの入射光をその全反射ミラー6で全反射し、全反射ミラー8を介して光学ファインダー7に照射する。また、撮影時には、回転式全反射ミラー6を光軸Pから外した1

本発明は、フランジバック距離を短くでき、また、光軸上へのガラス挿入を少なくできる 2 板式電子カメラを提供することを目的としている。

(課題を解決するための手段)

(作用)

上記のように構成された2板式電子カメラは、 光学レンズ系からの光を、光学式切換手段の回転 点鎖線位置まで矢印 b 方向に回転させて、光学レンズ系 1 からの入射光を分光用ブリズム 2 で分光して、光出射面 2 c、 2 d から Y 用 C C D 3 と C 用 C C D 4 とに照射するように構成したものである。この際 C 用 C C D 4 に照射される光は、分光用プリズム 2 の分光面 2 a と反射面 2 b とで 2 回反射されて、光出射面 2 c から照射される。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、従来の2板式電子カメラは、光軸P上は、光軸P上は、光軸P上ではなり、近来の2板式電子カメラスム2の大型の分光用プリスで配合になってが表に、からないのが、からではない。また、2回反はよって、対対にはなり、では、2回反はよいが、2回反はよいが、2回反はよいが、2回反はないが、2回反対にはる光路ないのでは、4が必要となり、高価にないるが、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、高価にないのでは、4が必要となり、4が必要とないのでは、2000で

又はスライドによって、光学ファイターの侵入でに反射させる状態と、第1を2の優別があることが発えることがあり換える方向で、光知で変する方向では、光生に切換える方向では、光生に切換える方向では、光性に対して、大性に対して、大性の受光を引き、大性を表現では、大性を光が、は来のような2回反がよりで、後来のような2回反がなると、は、カッジバック距離を非がってです。、光軸上へのプリスム等のガラス挿入を少なくできまりによりには、大性に対して、大性に対していませんが、大性に対していませんが、大性に対しています。

(実施例)

以下、本発明を適用して2板式電子カメラの一 実施例を第1A図~第8図を参照して説明する。 なお、第9図に示した従来例と同一構造部には同 一の符号を付して重複説明を省略する。

まず、第1A図~第2図に示した2板式電子カメラは、第1の撮像素子である輝度信号用のY用

特別平3-148968(3)

この 2 板式電子カメラによれば、光学ファイングー 7 を使用する際には、第 1 A 図に示すように、ハーフミラー 1 0 を第 2 図の実線位置まで矢印 c 方向に回転させる。そして、光学レンズ系 1 からの入射光をそのハーフミラー 1 0 で反射し、フォーカススクリーン 1 2 を通して全反射ミラー 8 で全反射させて光学ファイングー 7 に照射する。ま

た、撮影時には、第1B図に示すように、ハーフミラー10を第2図の1点鎖線位置まで矢印 d 方向に回転させる。そして、光学レンズ系1からの入射光をそのハーフミラー10で透過及び反射によって分光して、Y用CCD3とC用CCD4とに照射する。

次に、第3 A 図及び第3 B 図は、回転可能な光学式切換手段 9 であるハーフミラー 1 0 を光の反射面 1 3 a を有するプリズム 1 3 に置換した変形例を示したものである。

可能に構成されている。

この2板式電子カメラによれば、光学ファイン ダーフを使用する際には、第4A図に示すように、 全反射ミラー15とハーフミラー16とを互いに 一体に矢印。方向にスライドさせて、第5図に実 線で示すように全反射ミラー15を光軸P上に揮 入させる。そして、光学レンズ系1からの入射光 をその全反射ミラー15で全反射し、フォーカス スクリーン12を通して全反射ミラー8で全反射 させて光学ファインダーフに照射する。また、撮 影時には、第4B図に示すように、全反射ミラー 15とハーフミラー16とを互いに一体に矢印「・ 方向にスライドさせて、第5 図に点線で示すよう にハーフミラー16を光帕P上に挿入させる。そ して、光学レンズ系1からの入射光をそのハーフ ミラー16で透過及び反射によって分光して、Y 用CCD3とC用CCD4とに照射する。

次に、第6A図及び第6B図は、スライド可能な光学式切換手段14である全反射ミラー15及びハーフミラー16を2つの光の反射及び透過面

1 7 a 、 1 7 b を有するプリズム 1 7 に 置換した変形 例を示したものである。

以上のように構成された2板式電子カメラには れば、第2図及び第5図に示するに、 一次でする方向には対向されてファイスス学の 一次であるCD4と光学の間光、の 一次であるCD4と光学の間光、の 一次であるCD4と光学の間光、の 一次である。全域の 一次である。 一次では、 一次である。 一次では、 一次できる。 一次できる。

なお、第 7 図によって映像信号の読出し国路を 説明する。

まず、光軸 P 上に配置されている Y 用 C C D 3 には光学レンズ系 1 からの入射光が光学式切換手段 9 又は 1 4 をそのまま透過して照射されるのに

特開平3-148968(4)

対して、光軸Pに対して直交する方向に配置されているC用CCD4には光学レンス系1からの射光が光学式切換手段9又は14によって反射れて照射されるので、Y用CCD3に結像ではれる。映像に対してC用CCD4に結像されるの映像はは1Y用CCD3及びC用CCD4によって電気の映像信号に変換されて、Y処理回路18及びC処理回路19によって読出される。

この際、Y処理回路18及びC処理回路19によるY用CCD3及びC用CCD4の走査方向が同一であると、Y用CCD3から統出される映像信号に対してC用CCD4から読出される映像信号は1日分遅れることになる。

そこで、Y処理回路 1 8 の後段に 1 H遅延回路 2 0 を設け、C処理回路 1 9 の後段には、 2 つの 1 Hメモリー 2 1、 2 2 を並列に設け、スイッチャー 2 3 によってライン毎にスイッチングするように構成する。

そして、Y用CCD3からY処理回路18によ

って読出した映像信号を1 H遅延回路 2 0 によって1 H分遅らせて出力する一方、 C 用 C C D 4 から C 処理回路 7 によって読出した映像信号をスイッチングによって一方の1 Hメモリー 2 1 で記憶すると共に、他の1 Hメモリー 2 2 から 1 H分反転された映像信号を出力させる。 そして、 これら2 つの出力信号を混同回路 2 4 で混合させて 1 つの映像信号として出力するようにしたものである。

この際、1Hメモリー21、22は、近年低価格、小型で製造でき、反転CCDを製造するより低価格となる。

但し、第8図に示すように、Y用CCD3及びC用CCD4の何れか一方を反転CCDで構成すれば、上記1H遅延回路20や2つの1Hメモリー21、22は不要になる。

以上、本発明の実施例に付き述べたが、本発明 は上記実施例に限定されることなく、本発明の技 術的思想に基づいて、各種の有効な変更が可能で ある。

(発明の効果)

本発明は、上述のとおり構成されているので、 次に記載する効果を奏する。

フランジバック距離を非常に短くできるので、 電子カメラの小型化を図ることができる。

フランジバック距離を短くできると共に、光軸上へのガラス挿入を少なくできるので、特殊な光学レンズ系を必要とせず、従来の35 m 1 限レフ用のレンズ群も使用できると共に、特殊なCCDも必要とせず、著しい低価格化を図ることができる。

光軸上へのガラス挿人が少ないので、1 チップ型カメラと光学系を共通化できる。

従来のような2回反射式の大型かつ特殊形状の 分光用プリズムを必要とせず、低価格化を図るこ とができる。

4. 図面の簡単な説明

第1A図~第8図は本発明の一実施例を示した ものであって、第1A図及び第1B図は回転可能 な光学式切換手段を使用した 2 板式電子カメラの 斜視図、第 2 図は同上の概略的の斜視図、第 3 A 図及び第 3 B 図は同上の変形例の斜視図、第 4 A 図及び第 4 B 図はスライド可能な光学式切換 を使用した 2 板式電子カメラの斜視図、第 5 図 を使用した 2 板式電子カメラの斜視図、第 5 図 によの変形例の斜視図、第 7 図は映像信号の続出 し回路を示したブロック図、第 8 図は同上の変形 例を示したブロック図である。

第9図は従来の2板式電子カメラの概略的な側 筋関である。

なお図面に用いた符号において、

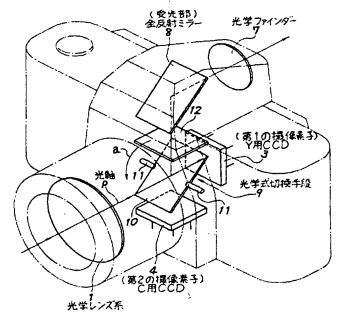
P光 蚰

1光学レンズ系
3 Y用CCD (第1の提像案子)
4 ··················· C用 C C D (第 2 の損像素子)
↑光学ファインダー
8全反射ミラー (受光部)
9光学式切換手段
14光学式切换手段

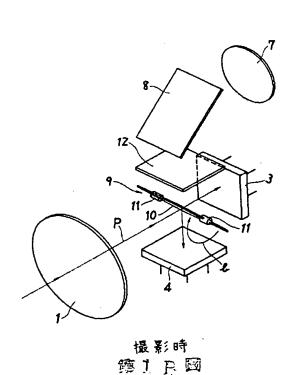
Q . … … で フランジバック距離

である.

代理人 土屋 服

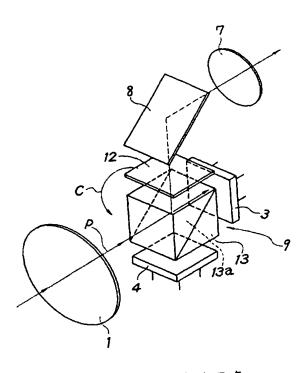


光学ファインダー使用時 第1A図

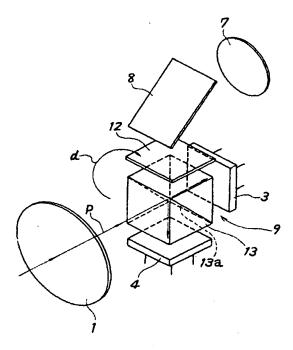


カラングバック死題 光学式の換手段の切換之動作 第2図 北学式の換手段の切換之動作 第5図

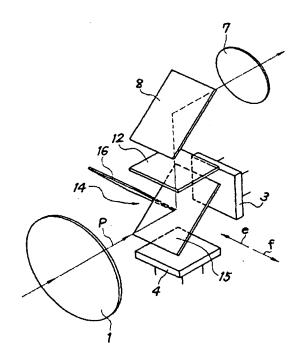
特別平3-148968(6)



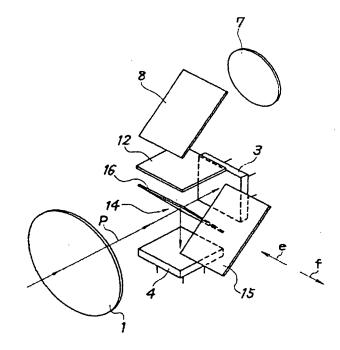
光学ファインダー使用時第3A図



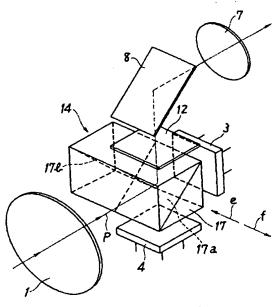
撮影時 第3B図



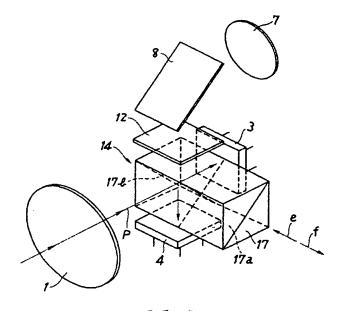
光学ファインダー使用時 第4月至

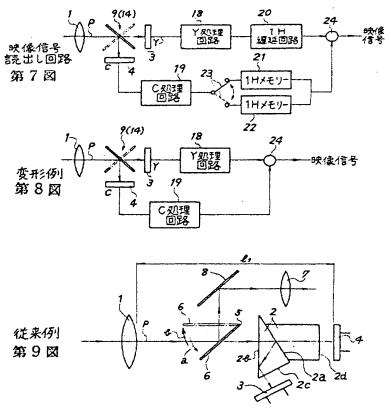


撮影時 第4B國



光学ファインダー使用時 第 名 A 戸





-417-